Japanese
The Dark Ages & Saint Columba
TCA-213DAR

暗黒時代と聖コロンバ

ウィリアム・マリオン・ブラハム

www.messagehub.info

Japanese
The Dark Ages & Saint Columba
TCA-213DAR

暗黒時代と聖コロンバ

ウィリアム・マリオン・ブラハム

www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

www.messagehub.info

暗黒時代と聖コロンバ

黙示録2:18-29

「また、ティアティラにある教会の御使いに書き送れ。『燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝く真鍮のような神の子が、こう言われる――。

わたしは、あなたの行い、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。

けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは、あの女、イゼベルをなすがままにさせている。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて惑わし、淫らなことを行わせ、偶像に献げた物を食べさせている。

わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は淫らな行いを悔い改めようとしない。

暗黒時代と聖コロンバ

黙示録2:18-29

「また、ティアティラにある教会の御使いに書き送れ。『燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝く真鍮のような神の子が、こう言われる――。

わたしは、あなたの行い、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。

けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは、あの女、イゼベルをなすがままにさせている。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて惑わし、淫らなことを行わせ、偶像に献げた物を食べさせている。

わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は淫らな行いを悔い改めようとしない。

見よ、わたしはこの女を病の床に投げ込む。また、この女と姦淫を行う者たちも、この女の行いを離れて悔い改めないなら、大きな患難の中に投げ込む。

また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。

しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる「サタンの深み」を知らないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保ちなさい。

勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与える。

彼は鉄の杖で彼らを牧する。土の器を砕くように。

2 www.messagehub.info

見よ、わたしはこの女を病の床に投げ込む。また、この女と姦淫を行う者たちも、この女の行いを離れて悔い改めないなら、大きな患難の中に投げ込む。

また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。

しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる「サタンの深み」を知らないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保ちなさい。

勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与える。

彼は鉄の杖で彼らを牧する。土の器を砕くように。

わたしも父から支配する権威を受けたが、それと同じである。また、勝利を得る者には、わたしは明けの明星を与える。耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』」

テアテラ

歴史的に言えば、ティアティラ市は黙示録中で書かれた7つの町の中で一番目立たない町でした。それはミュシアとイオニアの間に位置していました。多くの川に囲まれていたが、それらの中はヒルであふれていました。この町の一番挙げられるべきものはその財政の豊かさであり、それは陶工、なめし革業者、織工、染め物屋、ローブを作る人の組織団体のおかげでした。この街から紫布の商人のリディアが出て来ました。彼女はパウロが指導した初めてのヨーロッパ人の信者でした。

4つ目の時代の霊的要素を持つものとして御霊がこの町を選ばれた理由はその宗教です。ティアティラの主な宗教はアポロティリミナイオスに対する崇拝で、帝王崇拝のカルトと連合していました。アポロは太陽神で、彼の父であるゼウスの次に力がある者でした。彼は「悪を回避する者」として知られていて、宗教法律と罪の贖い（贖いの方法、悪事と罪の償い方）を

暗黒時代と聖コロンバ 3

わたしも父から支配する権威を受けたが、それと同じである。また、勝利を得る者には、わたしは明けの明星を与える。耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』」

テアテラ

歴史的に言えば、ティアティラ市は黙示録中で書かれた7つの町の中で一番目立たない町でした。それはミュシアとイオニアの間に位置していました。多くの川に囲まれていたが、それらの中はヒルであふれていました。この町の一番挙げられるべきものはその財政の豊かさであり、それは陶工、なめし革業者、織工、染め物屋、ローブを作る人の組織団体のおかげでした。この街から紫布の商人のリディアが出て来ました。彼女はパウロが指導した初めてのヨーロッパ人の信者でした。

4つ目の時代の霊的要素を持つものとして御霊がこの町を選ばれた理由はその宗教です。ティアティラの主な宗教はアポロティリミナイオスに対する崇拝で、帝王崇拝のカルトと連合していました。アポロは太陽神で、彼の父であるゼウスの次に力がある者でした。彼は「悪を回避する者」として知られていて、宗教法律と罪の贖い（贖いの方法、悪事と罪の償い方）を

管理しました。プラトンは彼についてこう言いました、「彼は人々に神殿の設立、神への生贄を捧げる方法と崇拝の方法、それらに加えて死と来世につながる儀式を教えました。」彼は預言者と予言を通して人々に「将来」および彼の「父の意向」について教えました。ティアティラにおいて、この儀式はある三脚の椅子に座る女預言者が霊に取り憑かれた時に伝言を伝えることで行われました。

この信仰の影響力はとても目を引くものでした。その人を恐れさせるパワーは神秘的な領域にだけあるものではなく、人々がアポロの神殿での崇拝に参加しないと、生計を立てるための協会に入ることができないという事実にありました。偶像の祭りとみだらな宴に参加することを拒否した者はこれらの一世紀目の連合に入ることを拒まれました。社交的そして商業的な生活を送りたいならば、活発な異教偶像崇拝者にならなければなりませんでした。

女による独占

一番注目すべきところはこのティアティラという名が、「支配をする女性」を意味することです。したがってこの時代の特徴はある支配力、容赦なくすべてを侵略し、すべてを征服して横暴に支配する力です。今支配をする女性は世界でもっとも大きい呪いです。世

いは初めの行いにまさる」。

ティアティラという言葉の意味は多くの意味があり、その中のひとつに「絶えずに犠牲にする」という意味があります。多くの人がこれはミサをすること、すなわちキリストの犠牲を絶えずに演じることに関する予言であると信じています。それは優れた考えだが、これは真の信者たちの命と労苦を絶えずに犠牲にすることをも意味すると思います。

これらのティアティラの聖徒たちは信者たちの中のエッセンスであり、聖霊と信仰に満ち、良い働きのために造られ、神の称賛に値し、自分のために生きず、自分たちのすべてを良き捧げ物として主に捧げました。

4 www.messagehub.info

管理しました。プラトンは彼についてこう言いました、「彼は人々に神殿の設立、神への生贄を捧げる方法と崇拝の方法、それらに加えて死と来世につながる儀式を教えました。」彼は預言者と予言を通して人々に「将来」および彼の「父の意向」について教えました。ティアティラにおいて、この儀式はある三脚の椅子に座る女預言者が霊に取り憑かれた時に伝言を伝えることで行われました。

この信仰の影響力はとても目を引くものでした。その人を恐れさせるパワーは神秘的な領域にだけあるものではなく、人々がアポロの神殿での崇拝に参加しないと、生計を立てるための協会に入ることができないという事実にありました。偶像の祭りとみだらな宴に参加することを拒否した者はこれらの一世紀目の連合に入ることを拒まれました。社交的そして商業的な生活を送りたいならば、活発な異教偶像崇拝者にならなければなりませんでした。

女による独占

一番注目すべきところはこのティアティラという名が、「支配をする女性」を意味することです。したがってこの時代の特徴はある支配力、容赦なくすべてを侵略し、すべてを征服して横暴に支配する力です。今支配をする女性は世界でもっとも大きい呪いです。世

暗黒時代と聖コロンバ 29

いは初めの行いにまさる」。

ティアティラという言葉の意味は多くの意味があり、その中のひとつに「絶えずに犠牲にする」という意味があります。多くの人がこれはミサをすること、すなわちキリストの犠牲を絶えずに演じることに関する予言であると信じています。それは優れた考えだが、これは真の信者たちの命と労苦を絶えずに犠牲にすることをも意味すると思います。

これらのティアティラの聖徒たちは信者たちの中のエッセンスであり、聖霊と信仰に満ち、良い働きのために造られ、神の称賛に値し、自分のために生きず、自分たちのすべてを良き捧げ物として主に捧げました。

し、宗教裁判所を設立し、彼の指示のもとに宗教改革時代以外で最も多くの人々の血を流しました。それはポルノクラシーの時代、淫婦たちの支配でした。サガリウス3世は愛人がいて、そして「情人と庶子たちで教皇の聖歌隊を満たし、教皇の宮殿を強盗たちの巣に変えました。」アナスタシウス3世はサガリウス3世の愛人であるマロジアによって窒息死させられました。ヨハネ11世はマロジアの庶子でした。ヨハネ12世はマロジアの孫であり、彼は「未亡人と処女たちに乱暴をし、淫行の時に女性の怒った夫によって殺されました。」それは教会大分裂の時代で、なぜなら2系列の教皇たちがいたからで（一人はアヴィニョンから、もう一人はローマから治めていました）、お互い罵り争いました。これらの教皇たちは不道徳な性行為の罪（数えきれない庶子の父であり、同性愛の罪など）だけでなく、聖職者の職務を一番高く金銭を出した人に売った罪も犯しました。

それは光があまりにも弱々しく光る時代で、しかしわずかな信者たちは暗くなるければなるほどいっそう熱心に主のために働き、その時代の終わりには多くの人が立ち上がって宗教改革を試みました。彼らの働きはあまりにも熱心で、これから来る宗教改革のために道路を整備しました。したがって御言葉はその時代について言われました、「近ごろ(時代の終わり)の行

界でもっとも賢い男はソロモンで、彼はこう言いました、

> *「私は心を転じて、知恵と道理を学び、探り出し、探し求めた。愚かさの悪と、狂気の愚かさを知ろうとした。*
>
> *私は、**女が死よりも苦々しい**ことに気がついた。女は罠であり、その心は網、その手は、かせである。神に良しとされる者は女から逃れるが、**罪に陥る者**は女に捕らえられる。*
>
> *伝道者は言う。見よ。私が道理を見出そうとして、一つ一つに当たり、見出したことは次のとおりである。*
>
> *私のたましいは、なおも探し求めたが、見出すことはなかった。私は千人のうちに、一人の男を見出したが、そのすべてのうちに、一人の女も見出さなかった。」*

伝道者7:25-28

パウロは言いました、

28 www.messagehub.info

し、宗教裁判所を設立し、彼の指示のもとに宗教改革時代以外で最も多くの人々の血を流しました。それはポルノクラシーの時代、淫婦たちの支配でした。サガリウス3世は愛人がいて、そして「情人と庶子たちで教皇の聖歌隊を満たし、教皇の宮殿を強盗たちの巣に変えました。」アナスタシウス3世はサガリウス3世の愛人であるマロジアによって窒息死させられました。ヨハネ11世はマロジアの庶子でした。ヨハネ12世はマロジアの孫であり、彼は「未亡人と処女たちに乱暴をし、淫行の時に女性の怒った夫によって殺されました。」それは教会大分裂の時代で、なぜなら2系列の教皇たちがいたからで（一人はアヴィニョンから、もう一人はローマから治めていました）、お互い罵り争いました。これらの教皇たちは不道徳な性行為の罪（数えきれない庶子の父であり、同性愛の罪など）だけでなく、聖職者の職務を一番高く金銭を出した人に売った罪も犯しました。

それは光があまりにも弱々しく光る時代で、しかしわずかな信者たちは暗くなるければなるほどいっそう熱心に主のために働き、その時代の終わりには多くの人が立ち上がって宗教改革を試みました。彼らの働きはあまりにも熱心で、これから来る宗教改革のために道路を整備しました。したがって御言葉はその時代について言われました、「近ごろ(時代の終わり)の行

暗黒時代と聖コロンバ 5

界でもっとも賢い男はソロモンで、彼はこう言いました、

「私は心を転じて、知恵と道理を学び、探り出し、探し求めた。愚かさの悪と、狂気の愚かさを知ろうとした。

私は、女が死よりも苦々しいことに気がついた。女は罠であり、その心は網、その手は、かせである。神に良しとされる者は女から逃れるが、罪に陥る者は女に捕らえられる。

伝道者は言う。見よ。私が道理を見出そうとして、一つ一つに当たり、見出したことは次のとおりである。

私のたましいは、なおも探し求めたが、見出すことはなかった。私は千人のうちに、一人の男を見出したが、そのすべてのうちに、一人の女も見出さなかった。」

伝道者7:25-28

パウロは言いました、

「私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。」

エデンの園の時から女性は絶えずに男性を支配することに成功してきており、そして今日は女性の世界で、アメリカ人にとっての女神はある裸の女性です。あの天から降りた女神の偶像のように（彼女の腕は鉄の棒であることを思い出してください）、一つ目もしくはエペソ時代を象徴し、彼女の力は絶対的な権利を手に入れるまで成長し続け、彼女は鉄の性質でその権利を手に入れました。

女性は鉄の性質を持つべきではありません。聖書によると、彼女は男性に服従するべきです[1ペテロ3:1,5-7, エペソ5:22-23, 1コリント14:34,37]。それが彼女への命令です。すべての本当の女性はその性質を持ちます。ドアマットではありません。本当の男性は女性をドアマットとして扱うことはありません。しかし彼女は支配の下にいることを望み、男性を支配することを望みません、なぜなら彼は家の頭だからです[1コリント11:3, 創世記3:16]。もし彼女は神が彼女のために作られたイメージを壊すならば、彼女は堕落します。女性に支配権を握らせる男性もそのイメージを破り、堕落してしまいます。それがなぜ女性が**男性の服を着ることそして髪を切ることができない**理由です[申命記22:5, 1コリント11:5-13,15]。彼女は決し

行いにまさる、近ごろの行いも知っている。」

これは確かに注意に値ます。時代の暗闇が増し、殉教者の名誉名簿が日に日に長くなっていった時、彼らはますます努力して、神に仕え、そして彼らの信仰は増加しました。エペソ時代で愛が弱くなってしまったのはなんと悲しいことでしょう。そして他の時代でも愛の労苦が増えたと言われたことはないが、この時代において、全ての時代の中で最も暗い時代で、彼らはますます神に仕えました。それはなんたる教材なのでしょうか。主に対する愛の感謝の奉仕はやめるどころか、増えていきました。それが秘訣です。敵が私たちの主に対する奉仕を邪魔しようとする時、私たちの返答は奉仕を増やすことです。弱っている人が恐怖で泣く時、その時こそ勝利を叫ぶ時です。

「わたしは、あなたの行い、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。」

すでに言ったように、この時代は暗黒時代と呼ばれ、なぜならそれはもちろん全ての歴史の中で最も暗い期間だったからです。それは教皇インノケンティウス3世の時代で、彼は自分が「キリストの代理者—教会と世界においての最高の支配者」であると主張

6 www.messagehub.info

「私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。」

エデンの園の時から女性は絶えずに男性を支配することに成功してきており、そして今日は女性の世界で、アメリカ人にとっての女神はある裸の女性です。あの天から降りた女神の偶像のように（彼女の腕は鉄の棒であることを思い出してください）、一つ目もしくはエペソ時代を象徴し、彼女の力は絶対的な権利を手に入れるまで成長し続け、彼女は鉄の性質でその権利を手に入れました。

女性は鉄の性質を持つべきではありません。聖書によると、彼女は男性に服従するべきです[1ペテロ3:1,5-7, エペソ5:22-23, 1コリント14:34,37]。それが彼女への命令です。すべての本当の女性はその性質を持ちます。ドアマットではありません。本当の男性は女性をドアマットとして扱うことはありません。しかし彼女は支配の下にいることを望み、男性を支配することを望みません、なぜなら彼は家の頭だからです[1コリント11:3, 創世記3:16]。もし彼女は神が彼女のために作られたイメージを壊すならば、彼女は堕落します。女性に支配権を握らせる男性もそのイメージを破り、堕落してしまいます。それがなぜ女性が**男性の服を着ることそして髪を切ることができない**理由です[申命記22:5, 1コリント11:5-13,15]。彼女は決し

暗黒時代と聖コロンバ 27

行いにまさる、近ごろの行いも知っている。」

これは確かに注意に値ます。時代の暗闇が増し、殉教者の名誉名簿が日に日に長くなっていった時、彼らはますます努力して、神に仕え、そして彼らの信仰は増加しました。エペソ時代で愛が弱くなってしまったのはなんと悲しいことでしょう。そして他の時代でも愛の労苦が増えたと言われたことはないが、この時代において、全ての時代の中で最も暗い時代で、彼らはますます神に仕えました。それはなんたる教材なのでしょうか。主に対する愛の感謝の奉仕はやめるどころか、増えていきました。それが秘訣です。敵が私たちの主に対する奉仕を邪魔しようとする時、私たちの返答は奉仕を増やすことです。弱っている人が恐怖で泣く時、その時こそ勝利を叫ぶ時です。

「わたしは、あなたの行い、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。」

すでに言ったように、この時代は暗黒時代と呼ばれ、なぜならそれはもちろん全ての歴史の中で最も暗い期間だったからです。それは教皇インノケンティウス3世の時代で、彼は自分が「キリストの代理者—教会と世界においての最高の支配者」であると主張

「信仰が試されると忍耐が生まれます。」

忍耐を得る方法は絶対にこの他にありません。それは私たちの信仰に対する試練から来ます。

ローマ5:3、

「苦難が忍耐を生み出し」

私たちの忍耐の成果を神はいかに重視されているかはヤコブ1:4で見られます、

「その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。」

神の御心は私たちが完全になることです。そしてその完全は忍耐です—神を待ち、神のために待つことです。これは性格が成長していく過程です。神はこれらの暗黒時代の聖徒をなんと高く称賛されたことでしょう。屠り場に引かれていく羊のように忍耐し、愛と忠実をもって神に仕えました。彼らの報いはどれほど大きいものでしょう。

「わたしは、あなたの行い、初めの

て男性の服を着ることそして髪を切ることができません。彼女がそうした時、彼女は男性の領域に入り、支配権をとり、堕落します。そして女性が**講壇に上ってはいけないと命じられているが**、講壇に侵入するなら、彼女は自分が持つ霊を示します[1テモテ2:11-14]。支配する女性はアンチキリストで、ローマカトリック教会の種は彼女の考えの中にあります、彼女は強く否定するかもしれませんが。**御言葉に向かい合う時**、神が真実であり、すべての人の言葉は偽りです[ローマ3:4]。アーメン。

最初に戻りましょう。私たちが今日知っているように、元の物理的な創造物は、神はペアで造られました、オスとメスです。2匹のニワトリ、おんどりとめんどりがいました。2匹の牛、雄牛と雌牛がいました。そしてすべてがこのように続いております。しかしヒトになると、たっただひとりでした。彼らはペアではありませんでした。アダムは神のイメージで作られました。彼は神の息子でした。神の息子として彼は試されたり堕落したりすることはできませんでした。それは不可能でした、それは不可能でした、そのため神はヒトの副産物を造られ、その副産物が堕落を引き起こしました[1テモテ2:13-14]。女性は神の手から直接的な産物として出てきていませんでした。彼女は男性から作られました[創世記2:22]。そして神が彼女を男性から造

26 www.messagehub.info

「信仰が試されると忍耐が生まれます。」

忍耐を得る方法は絶対にこの他にありません。それは私たちの信仰に対する試練から来ます。

ローマ5:3、

「苦難が忍耐を生み出し」

私たちの忍耐の成果を神はいかに重視されているかはヤコブ1:4で見られます、

「その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。」

神の御心は私たちが完全になることです。そしてその完全は忍耐です—神を待ち、神のために待つことです。これは性格が成長していく過程です。神はこれらの暗黒時代の聖徒をなんと高く称賛されたことでしょう。屠り場に引かれていく羊のように忍耐し、愛と忠実をもって神に仕えました。彼らの報いはどれほど大きいものでしょう。

「わたしは、あなたの行い、初めの

暗黒時代と聖コロンバ 7

て男性の服を着ることそして髪を切ることができません。彼女がそうした時、彼女は男性の領域に入り、支配権をとり、堕落します。そして女性が**講壇に上ってはいけないと命じられているが**、講壇に侵入するなら、彼女は自分が持つ霊を示します[1テモテ2:11-14]。支配する女性はアンチキリストで、ローマカトリック教会の種は彼女の考えの中にあります、彼女は強く否定するかもしれませんが。**御言葉に向かい合う時**、神が真実であり、すべての人の言葉は偽りです[ローマ3:4]。アーメン。

最初に戻りましょう。私たちが今日知っているように、元の物理的な創造物は、神はペアで造られました、オスとメスです。2匹のニワトリ、おんどりとめんどりがいました。2匹の牛、雄牛と雌牛がいました。そしてすべてがこのように続いております。しかしヒトになると、たっただひとりでした。彼らはペアではありませんでした。アダムは神のイメージで作られました。彼は神の息子でした。神の息子として彼は試されたり堕落したりすることはできませんでした。それは不可能でした、それは不可能でした、そのため神はヒトの副産物を造られ、その副産物が堕落を引き起こしました[1テモテ2:13-14]。女性は神の手から直接的な産物として出てきていませんでした。彼女は男性から作られました[創世記2:22]。そして神が彼女を男性から造

られるようにされた時に、彼女は神が造られた他のメスの生き物とはまるっきり違いました。彼女は誘惑されることができました。他のメスの創造物は不道徳になり得ません、しかし人間の女性はほとんどすべての時に触れられることができます。

そしてあの彼女の弱みが悪魔にサーパントを通して彼女を誘惑することを許し、そして神と神の御言葉の御前において女性にとても奇妙な位置に立たせました。彼女は俗悪で汚れた、いまわしい存在の象徴である一方で、清潔で美しく、聖なるすべてのもの象徴でもあり、その聖潔は御霊と神の祝福になることができるような器です。一方で彼女は自分の淫行のぶどう酒に酔う淫婦と呼ばれています[黙示録17:1-4]。もう一方で彼女はキリストの花嫁と呼ばれています[2コリント11:2, エペソ5:22-32]。一方で彼女は秘密なバビロンと呼ばれ[黙示録17:5]、神の御前でいまわしいものであるが、もう一方で彼女は新しいエルサレム、私たちの母と呼ばれます[黙示録21:2]。一方で彼女はあまりにも汚れて邪悪で、みだらで、直ちに彼女に唯一適した場所である火の湖に投げ入れられるような者だが、もう一方で彼女は天に挙げられ、神と神の御座を共に享受しており、そこはそのような王妃に唯一ふさわしい場所です。

そしてこのティアティラ教会時代において彼女

後で分かるようになります。今見たわたしがしていることを、あなたがたも同じようにするべきです。」[ヨハネ13:4-17]主は神が彼をいと高き所まで上げられるようにしもべになられました。そしてある日聖徒の裁きの時に私たちは主がこう言われるのを聞くことになります、「*よくやった。良い忠実な**しもべ**だ。主人の喜びをともに喜んでくれ。*」いつもしもべとなるのは難しいことです。しかし他人のために生きた人々はある日主とともに主の御座に座ります。その時に、すべてはそれに値します。「ご主人のために働きましょう、朝から晩まで、主の驚くべき愛と加護について語り合いましょう、そして人生の旅を終え、地上での役目が果たされると、向こうで名が呼ばれる時私はそこにいます。」（編注：When the roll is called up yonderという賛美歌の歌詞）

「わたしは、あなたの信仰を知っている。」ここでペルガモ教会に言われたような「あなたはわたしに対する信仰を持つ」という言葉をここで言われていません。主は今御自分に対する信仰について語っておらず、彼らの忠実さを賞賛しています。そして主は彼らの「忍耐」についても言及されています。忠実と忍耐は一緒にいます。

実際忍耐は忠実から出るもので、なぜならヤコブ1:3でこう言われています、

8 www.messagehub.info

られるようにされた時に、彼女は神が造られた他のメスの生き物とはまるっきり違いました。彼女は誘惑されることができました。他のメスの創造物は不道徳になり得ません、しかし人間の女性はほとんどすべての時に触れられることができます。

そしてあの彼女の弱みが悪魔にサーパントを通して彼女を誘惑することを許し、そして神と神の御言葉の御前において女性にとても奇妙な位置に立たせました。彼女は俗悪で汚れた、いまわしい存在の象徴である一方で、清潔で美しく、聖なるすべてのもの象徴でもあり、その聖潔は御霊と神の祝福になることができるような器です。一方で彼女は自分の淫行のぶどう酒に酔う淫婦と呼ばれています[黙示録17:1-4]。もう一方で彼女はキリストの花嫁と呼ばれています[2コリント11:2, エペソ5:22-32]。一方で彼女は秘密なバビロンと呼ばれ[黙示録17:5]、神の御前でいまわしいものであるが、もう一方で彼女は新しいエルサレム、私たちの母と呼ばれます[黙示録21:2]。一方で彼女はあまりにも汚れて邪悪で、みだらで、直ちに彼女に唯一適した場所である火の湖に投げ入れられるような者だが、もう一方で彼女は天に挙げられ、神と神の御座を共に享受しており、そこはそのような王妃に唯一ふさわしい場所です。

そしてこのティアティラ教会時代において彼女

暗黒時代と聖コロンバ 25

後で分かるようになります。今見たわたしがしていることを、あなたがたも同じようにするべきです。」[ヨハネ13:4-17]主は神が彼をいと高き所まで上げられるようにしもべになられました。そしてある日聖徒の裁きの時に私たちは主がこう言われるのを聞くことになります、「*よくやった。良い忠実な**しもべ**だ。主人の喜びをともに喜んでくれ。*」いつもしもべとなるのは難しいことです。しかし他人のために生きた人々はある日主とともに主の御座に座ります。その時に、すべてはそれに値します。「ご主人のために働きましょう、朝から晩まで、主の驚くべき愛と加護について語り合いましょう、そして人生の旅を終え、地上での役目が果たされると、向こうで名が呼ばれる時私はそこにいます。」（編注：When the roll is called up yonderという賛美歌の歌詞）

「わたしは、あなたの信仰を知っている。」ここでペルガモ教会に言われたような「あなたはわたしに対する信仰を持つ」という言葉をここで言われていません。主は今御自分に対する信仰について語っておらず、彼らの忠実さを賞賛しています。そして主は彼らの「忍耐」についても言及されています。忠実と忍耐は一緒にいます。

実際忍耐は忠実から出るもので、なぜならヤコブ1:3でこう言われています、

の木は神への愛、そして兄弟への愛を保ちました。神はそのために彼らを称賛されました。

*「わたしは、あなたの奉仕を知っている。」*イエスは言われました、「あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。」ある知恵のある方がその言葉に言及しました。これが彼が言ったことです、「歴史のみがその格言を証明することができます。」その方は正しいです。歴史上のすべての本当に偉大な方々は皆一度は人に仕えていました。今まで他人に服従するように要求し、迫害し、いつも頭になろうとする人たちは恥じらいの中で失脚してきました。非常に裕福な人たちでさえ正しく財産を使っていなかったのが原因で神に咎められました。歴史を調べると、本当に偉大な方たちは一度は人に仕えていたことがわかります。歴史は一度も他人からたくさん奉仕を受けてきた人々を喝采せず、逆にいつも他人のために多くのことをした方々を称賛します。

さてそのことを私たち自身に当てはめてみましょう。人の子でさえ仕えられるために来られたのではなく、かえって人に仕えるために来られた、そのため私たちはその見本を見習うべきです[マタイ20:25-28]。主が使徒たちの足の前で腰を低くされ、彼らの疲れて汚れた足を洗われるのを見てください。主は言われました、「わたしがしていることは、今は分からなくても、

は支配する女性です。彼女は秘密なバビロンです。彼女は大淫婦です。彼女は偽女預言者のイゼベルです。なぜですか。それは真の女性は神に柔順であるからです。キリストは彼女の頭です。彼女は主の言葉以外言葉を持たず、主の考え以外考えがなく、主の導き以外の導きがありません。しかしこの教会はどうでしょうか。彼女は御言葉を追い出し、聖書と敬虔な人の著作を破壊しました。真理を宣べ伝える人々を殺害しました。王たち、王子たち、そして国々を掌握し、軍隊を支配し、そして自分はキリストの真の身体で、彼女の教皇はキリストの代表だと主張しました。彼女は完全に悪魔に誘惑され、そして自分もが他人を誘惑する者となりました。彼女はサタンの花嫁であり、そしてサタンの庶子の宗派を生み出しました。

彼女は暗黒時代を通して支配してきました。彼女は900年間以上の間、略奪そして破壊してきました。彼女は芸術を殺し、科学を破壊し、真理の光がほとんど完全になくなり、うっすらとした一束の光のみが残るまで、死以外何も生み出すことがなかったです。油と酒はほとんど流れ出なくなりました。しかし彼女が世界の国々を支配し、全ての人が彼女の国民になるように要求している間、神に属し天国に市民権を持つ小さいグループがありました、そして彼らを彼女は破壊することはできませんでした。このローマの教会

24 www.messagehub.info

の木は神への愛、そして兄弟への愛を保ちました。神はそのために彼らを称賛されました。

*「わたしは、あなたの奉仕を知っている。」*イエスは言われました、「あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。」ある知恵のある方がその言葉に言及しました。これが彼が言ったことです、「歴史のみがその格言を証明することができます。」その方は正しいです。歴史上のすべての本当に偉大な方々は皆一度は人に仕えていました。今まで他人に服従するように要求し、迫害し、いつも頭になろうとする人たちは恥じらいの中で失脚してきました。非常に裕福な人たちでさえ正しく財産を使っていなかったのが原因で神に咎められました。歴史を調べると、本当に偉大な方たちは一度は人に仕えていたことがわかります。歴史は一度も他人からたくさん奉仕を受けてきた人々を喝采せず、逆にいつも他人のために多くのことをした方々を称賛します。

さてそのことを私たち自身に当てはめてみましょう。人の子でさえ仕えられるために来られたのではなく、かえって人に仕えるために来られた、そのため私たちはその見本を見習うべきです[マタイ20:25-28]。主が使徒たちの足の前で腰を低くされ、彼らの疲れて汚れた足を洗われるのを見てください。主は言われました、「わたしがしていることは、今は分からなくても、

暗黒時代と聖コロンバ 9

は支配する女性です。彼女は秘密なバビロンです。彼女は大淫婦です。彼女は偽女預言者のイゼベルです。なぜですか。それは真の女性は神に柔順であるからです。キリストは彼女の頭です。彼女は主の言葉以外言葉を持たず、主の考え以外考えがなく、主の導き以外の導きがありません。しかしこの教会はどうでしょうか。彼女は御言葉を追い出し、聖書と敬虔な人の著作を破壊しました。真理を宣べ伝える人々を殺害しました。王たち、王子たち、そして国々を掌握し、軍隊を支配し、そして自分はキリストの真の身体で、彼女の教皇はキリストの代表だと主張しました。彼女は完全に悪魔に誘惑され、そして自分もが他人を誘惑する者となりました。彼女はサタンの花嫁であり、そしてサタンの庶子の宗派を生み出しました。

彼女は暗黒時代を通して支配してきました。彼女は900年間以上の間、略奪そして破壊してきました。彼女は芸術を殺し、科学を破壊し、真理の光がほとんど完全になくなり、うっすらとした一束の光のみが残るまで、死以外何も生み出すことがなかったです。油と酒はほとんど流れ出なくなりました。しかし彼女が世界の国々を支配し、全ての人が彼女の国民になるように要求している間、神に属し天国に市民権を持つ小さいグループがありました、そして彼らを彼女は破壊することはできませんでした。このローマの教会

はアタルヤ王妃と同じように不信心そして邪悪で、全ての王族の種を破壊しようとし、ほとんど成功したが、神は**ひとりを保護され**、彼からさらに多くの信心深い人が出ました[2歴代22:10-12]。そのため神はあの長い暗黒の夜に小さな群れを保護され、そして彼らの真理のために最終的にルターという方を起こされました。

ローマ・カトリック教会そしてその崇拝の方式について少し知っている人ならば、なぜこのティアティラの町が暗黒時代にいる教会を代表するように御霊によって選ばれたのかがわかります。それは、まさに私たちの目の前にあります。

メッセンジャーコロンバ

ティアティラ時代は全ての時代の中で最も長く、およそ900年間で、606年から1520年までででした。

教会は早々と2つのグループ、西と東に別れました。どちらかもしくは両方のグループに時々改革者が起こされ、しばらくの間、教会の一部を導いて神とのより深い関係に入りました。そのような方は西側ではアッシジのフランチェスコがいました。しばらく本当に成功したのち、彼の働きは最終的にローマの階級制度によって抑えられました。リヨンのピーター・ワルドー

分の人々への愛なのです。イエスは言われました、「互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」[ヨハネ13:35] 初期のクリスチャンたちを見た異教徒は言いました、「見よ、彼らはなんとお互い愛し合っていることでしょう。」ヨハネは言いました、

「愛がある者はみな神から生まれ」

1ヨハネ4:7

ここである警告をしたいです。最後の時に不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなると書かれています。ラオディキアもしくは最後の時代で、自分に対する愛と、物に対する愛が神の真の愛にとって変わります。私たちはこれらの最後の日々の罪の力を防衛する必要があります。こんなにも多くの人々が頑なになってしまったのは、彼らがこの最後の日の霊がもたらす効果に気づいていないからです。神に近づき、神に御自分の愛で私たちのいのちを満たしていただく時がきました、さもないと私たちは最後の日の教会の冷たさを感じ、私たちを唯一助けることができる神の真理を拒絶することになります。

それらの暗黒で恐ろしい年月の中で、真のブドウ

10 www.messagehub.info

はアタルヤ王妃と同じように不信心そして邪悪で、全ての王族の種を破壊しようとし、ほとんど成功したが、神は**ひとりを保護され**、彼からさらに多くの信心深い人が出ました[2歴代22:10-12]。そのため神はあの長い暗黒の夜に小さな群れを保護され、そして彼らの真理のために最終的にルターという方を起こされました。

ローマ・カトリック教会そしてその崇拝の方式について少し知っている人ならば、なぜこのティアティラの町が暗黒時代にいる教会を代表するように御霊によって選ばれたのかがわかります。それは、まさに私たちの目の前にあります。

メッセンジャーコロンバ

ティアティラ時代は全ての時代の中で最も長く、およそ900年間で、606年から1520年までででした。

教会は早々と2つのグループ、西と東に別れました。どちらかもしくは両方のグループに時々改革者が起こされ、しばらくの間、教会の一部を導いて神とのより深い関係に入りました。そのような方は西側ではアッシジのフランチェスコがいました。しばらく本当に成功したのち、彼の働きは最終的にローマの階級制度によって抑えられました。リヨンのピーター・ワルドー

暗黒時代と聖コロンバ 23

分の人々への愛なのです。イエスは言われました、「互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」[ヨハネ13:35] 初期のクリスチャンたちを見た異教徒は言いました、「見よ、彼らはなんとお互い愛し合っていることでしょう。」ヨハネは言いました、

「愛がある者はみな神から生まれ」

1ヨハネ4:7

ここである警告をしたいです。最後の時に不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなると書かれています。ラオディキアもしくは最後の時代で、自分に対する愛と、物に対する愛が神の真の愛にとって変わります。私たちはこれらの最後の日々の罪の力を防衛する必要があります。こんなにも多くの人々が頑なになってしまったのは、彼らがこの最後の日の霊がもたらす効果に気づいていないからです。神に近づき、神に御自分の愛で私たちのいのちを満たしていただく時がきました、さもないと私たちは最後の日の教会の冷たさを感じ、私たちを唯一助けることができる神の真理を拒絶することになります。

それらの暗黒で恐ろしい年月の中で、真のブドウ

この聖句の中で主は御自分の子どもたちを称賛されており、なぜなら彼らは生まれ変わったいのちを生きていたからです。彼らの行いは彼らの中に新しい霊が宿っていることを証ししています。人々は彼らの良い行いを見て神に栄光を捧げました。そうです、もしあなたがクリスチャンならばあなたは良い事をするようになります。あなたの行いはあなたの心は正しいと示します。それはあなたが演じているものではなく、なぜならあなたは神以外誰も見ていないときに神の御心を行うからで、そして命を捧げることになっても神の御心を行うのです。

「わたしは、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。」彼らの愛は「行い」と「奉仕」の間に置かれていることに気づきます。そしてそれは正しい位置で、なぜなら愛がなければ私たちの行いも奉仕も神の御前で受け入れられることはありません。パウロはコリント人たちにこう言いました、「愛がないなら、私は無に等しいのです。私が行うことは、愛がなければ、何の役にも立ちません。」[1コリント13:1-3] ここでこれらの信徒は救いのためもしくは人から賞賛されるために行いをするニコライ党のクラスの中にいる人とは異なるのを見ることができます。彼らが良い行いをするのは聖霊によって、神の愛が彼らの心に注がれているからです[ローマ5:5]。彼らの心の中の愛は神が御自

は自分の世俗的な生活を捨てた商人であり、精力的に主に仕えそして多くの人々を主の元に引きつけました。しかし彼は働きを邪魔され、教皇によって破門させられました。聖句の光によって調べると、西側のグループにも東側のグループにもこの時代の使者になりうる方はいませんでした。しかし、イギリス諸島に2名の方々の御言葉の中での伝道事業と行いが真理の検査を受けた時に立てられました。彼らは聖パトリックと聖コルンバでした。聖コルンバに使者となる運命が降りました。

ティアティラ時代の使者は聖コルンバであったが、私は私たちへの見本として聖パトリックの一生について少し触れたいです。それと同時に、ローマ・カトリックが聖パトリックは彼らに属しているという主張は嘘であると指し示したいです。聖パトリックはジャンヌ・ダルクと同じようにローマ教会に属していませんでした。パトリックはクライド川の河畔の小さな町ボナヴェンにて、聖マーティンの姉の子として生まれました。

ある日彼がふたりの姉と海岸で遊んでいた時、海賊がやってきて彼ら3人を誘拐しました。姉妹ふたりのその後のゆくすえは誰も知らないが、パトリック（彼の名はスキャット）は北アイルランドの族長に売られました。彼の責務は豚を放牧することでした。これをする

22 www.messagehub.info

この聖句の中で主は御自分の子どもたちを称賛されており、なぜなら彼らは生まれ変わったいのちを生きていたからです。彼らの行いは彼らの中に新しい霊が宿っていることを証ししています。人々は彼らの良い行いを見て神に栄光を捧げました。そうです、もしあなたがクリスチャンならばあなたは良い事をするようになります。あなたの行いはあなたの心は正しいと示します。それはあなたが演じているものではなく、なぜならあなたは神以外誰も見ていないときに神の御心を行うからで、そして命を捧げることになっても神の御心を行うのです。

「わたしは、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。」彼らの愛は「行い」と「奉仕」の間に置かれていることに気づきます。そしてそれは正しい位置で、なぜなら愛がなければ私たちの行いも奉仕も神の御前で受け入れられることはありません。パウロはコリント人たちにこう言いました、「愛がないなら、私は無に等しいのです。私が行うことは、愛がなければ、何の役にも立ちません。」[1コリント13:1-3] ここでこれらの信徒は救いのためもしくは人から賞賛されるために行いをするニコライ党のクラスの中にいる人とは異なるのを見ることができます。彼らが良い行いをするのは聖霊によって、神の愛が彼らの心に注がれているからです[ローマ5:5]。彼らの心の中の愛は神が御自

暗黒時代と聖コロンバ 11

は自分の世俗的な生活を捨てた商人であり、精力的に主に仕えそして多くの人々を主の元に引きつけました。しかし彼は働きを邪魔され、教皇によって破門させられました。聖句の光によって調べると、西側のグループにも東側のグループにもこの時代の使者になりうる方はいませんでした。しかし、イギリス諸島に2名の方々の御言葉の中での伝道事業と行いが真理の検査を受けた時に立てられました。彼らは聖パトリックと聖コルンバでした。聖コルンバに使者となる運命が降りました。

ティアティラ時代の使者は聖コルンバであったが、私は私たちへの見本として聖パトリックの一生について少し触れたいです。それと同時に、ローマ・カトリックが聖パトリックは彼らに属しているという主張は嘘であると指し示したいです。聖パトリックはジャンヌ・ダルクと同じようにローマ教会に属していませんでした。パトリックはクライド川の河畔の小さな町ボナヴェンにて、聖マーティンの姉の子として生まれました。

ある日彼がふたりの姉と海岸で遊んでいた時、海賊がやってきて彼ら3人を誘拐しました。姉妹ふたりのその後のゆくすえは誰も知らないが、パトリック（彼の名はスキャット）は北アイルランドの族長に売られました。彼の責務は豚を放牧することでした。これをする

ために彼は犬たちを訓練しました。彼の犬たちはとてもよく訓練されたので、その犬たちを買うために多くの人々は遠いところからやって来ました。彼は孤独の中で神に振り向き、そして救われました。

やがて彼は逃げて自分の両親の元に帰るという切実な願望を持つようになりました。彼は自分がトレーナーとしての能力を存分発揮できる計画をたてました。彼は犬たちに自分の上に横たわって自分の体をよく覆い、そして自分が命令するまでそこから動かないように犬たちを訓練しました。したがって、ある日彼の主人が何匹かの犬を売ったとき、パトリックはリーダーとなる犬以外の犬たちに船に入るように命令しました。彼はリーダー犬に逃げて船に入るのを拒絶するように秘密な合図を送りました。主人とバイヤーがその犬を捕まえようとしている間、パトリックは船に入り犬たちに自分を覆うように合図を送りました。そして口笛を吹いてリーダー犬を船の中に呼び、自分の体の真上に乗るようにしました。パトリックのことが見えないため、バイヤーは帆を揚げて海に出ました。

戻るには遠すぎる距離になったのを確認すると、パトリックはもう一つの合図を送り、犬たちに騒動を起こすようにしました。そして彼はやってきて、船長にもし自分を自分の家ある岸に下ろさないと自分は犬たちに騒ぎ立て続けるように命令し、船に乗っ取ると言

エペソ2:10。

「これらの御わざは主に対する信仰を起こすためのもので、パウロが『主にあって造られた』と描写したように、それらは主との関係を示すことができます。」

行いは私たちの救いのために神の中での信仰に取って代わることはできません。しかし行いは私たちの信仰はすでに主の中にあるのを示します。良い行いはあなたを救うことはできないが、それらは主に捧げる実として救われた命から出てきます。私は良い行いを信じます。ある人が救われていないとしても、彼は良い行いをするべきであり、最善を尽くすべきです。神の御目の前人々が悪の行いをしながら自分たちは主の御心を行っていると言うのはなんと恐ろしいことでしょう。それは司教と教皇とローマの聖職者階級制度が行っていたことです。彼らは主の御名で人を殺し、傷つけ、そしてあらゆる悪事を行いました。彼らは御言葉が教えたのとまさに真逆な生活を過ごしていました。あの邪悪な日々に、それらの真の信徒は暗い所の光のように輝いていました、なぜなら彼らは絶えず良い事をしていたからです。彼らは呪いに対して祝福をもって返し、多くの人々はそのために死んだにも関わらず、真理を行って神に栄光を捧げました。

12 www.messagehub.info

ために彼は犬たちを訓練しました。彼の犬たちはとてもよく訓練されたので、その犬たちを買うために多くの人々は遠いところからやって来ました。彼は孤独の中で神に振り向き、そして救われました。

やがて彼は逃げて自分の両親の元に帰るという切実な願望を持つようになりました。彼は自分がトレーナーとしての能力を存分発揮できる計画をたてました。彼は犬たちに自分の上に横たわって自分の体をよく覆い、そして自分が命令するまでそこから動かないように犬たちを訓練しました。したがって、ある日彼の主人が何匹かの犬を売ったとき、パトリックはリーダーとなる犬以外の犬たちに船に入るように命令しました。彼はリーダー犬に逃げて船に入るのを拒絶するように秘密な合図を送りました。主人とバイヤーがその犬を捕まえようとしている間、パトリックは船に入り犬たちに自分を覆うように合図を送りました。そして口笛を吹いてリーダー犬を船の中に呼び、自分の体の真上に乗るようにしました。パトリックのことが見えないため、バイヤーは帆を揚げて海に出ました。

戻るには遠すぎる距離になったのを確認すると、パトリックはもう一つの合図を送り、犬たちに騒動を起こすようにしました。そして彼はやってきて、船長にもし自分を自分の家ある岸に下ろさないと自分は犬たちに騒ぎ立て続けるように命令し、船に乗っ取ると言

暗黒時代と聖コロンバ 21

エペソ2:10。

「これらの御わざは主に対する信仰を起こすためのもので、パウロが『主にあって造られた』と描写したように、それらは主との関係を示すことができます。」

行いは私たちの救いのために神の中での信仰に取って代わることはできません。しかし行いは私たちの信仰はすでに主の中にあるのを示します。良い行いはあなたを救うことはできないが、それらは主に捧げる実として救われた命から出てきます。私は良い行いを信じます。ある人が救われていないとしても、彼は良い行いをするべきであり、最善を尽くすべきです。神の御目の前人々が悪の行いをしながら自分たちは主の御心を行っていると言うのはなんと恐ろしいことでしょう。それは司教と教皇とローマの聖職者階級制度が行っていたことです。彼らは主の御名で人を殺し、傷つけ、そしてあらゆる悪事を行いました。彼らは御言葉が教えたのとまさに真逆な生活を過ごしていました。あの邪悪な日々に、それらの真の信徒は暗い所の光のように輝いていました、なぜなら彼らは絶えず良い事をしていたからです。彼らは呪いに対して祝福をもって返し、多くの人々はそのために死んだにも関わらず、真理を行って神に栄光を捧げました。

神は彼の子供達を褒める

黙示録2:19、

> *「わたしは、あなたの行い、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。」*

ここで私たちは再び同じ序言である、「わたしは、あなたの行いを知っている。」を見つけます。神の御子御自身が言われました、「...わざのゆえに信じなさい」[ヨハネ14:11]。主が地上におられた時、主は御自分の御わざを強調されました。主がなさった御わざは神があらかじめ定められたもので、人々が主に対する信仰を起こすためのものです。それは主の伝道事業の偉大な部分でした。

使徒パウロの中におられる主の聖霊がこう言われました、

> *「実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。」*

いました。

しかし、その船長はクリスチャンであり、この少年の物語を聞くと喜んで彼を彼の家のある岸に下ろしました。そこでパトリックは聖書学校に行き、アイルランドに戻り、御言葉と神の御力によって多くのしるしと不思議を行い、何千もの人々を主のために勝ち取りました。彼は一度もローマに行ったことはなく、一度もローマから命令を受けたことはありません。このことの真実は、ローマがついにその島に足を踏み入れた時に、時期を見て、十万人以上ものクリスチャンを殺したことです。彼らは聖パトリックの導きによって主の御元に来た元のグループから何年もの時を経た後の末裔でした。

およそ聖パトリック死後60年後、コルンバは北アイルランドにあるドニゴール郡のフェルギュス王族の家系に生まれました。彼は聡明で自分自身を主に捧げた学者となり、ほとんど全ての聖句を暗記しました。神は聞くことができる声のような形で彼に宣教師になるように呼びかけられました。彼が神の御声を聞いた後、何も彼を止めことはできず、そして彼の奇跡に満ちた伝道事業で多くの歴史学者に彼は使徒たちの次に位置する者だと主張しました。超自然なしるしのある彼の伝道事業はあまりにも偉大なので、何人か（特にローマの学生）はその記述たちは誇張されたものだ

20 www.messagehub.info

神は彼の子供達を褒める

黙示録2:19、

> *「わたしは、あなたの行い、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。」*

ここで私たちは再び同じ序言である、「わたしは、あなたの行いを知っている。」を見つけます。神の御子御自身が言われました、「...わざのゆえに信じなさい」[ヨハネ14:11]。主が地上におられた時、主は御自分の御わざを強調されました。主がなさった御わざは神があらかじめ定められたもので、人々が主に対する信仰を起こすためのものです。それは主の伝道事業の偉大な部分でした。

使徒パウロの中におられる主の聖霊がこう言われました、

> *「実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。」*

暗黒時代と聖コロンバ 13

いました。

しかし、その船長はクリスチャンであり、この少年の物語を聞くと喜んで彼を彼の家のある岸に下ろしました。そこでパトリックは聖書学校に行き、アイルランドに戻り、御言葉と神の御力によって多くのしるしと不思議を行い、何千もの人々を主のために勝ち取りました。彼は一度もローマに行ったことはなく、一度もローマから命令を受けたことはありません。このことの真実は、ローマがついにその島に足を踏み入れた時に、時期を見て、十万人以上ものクリスチャンを殺したことです。彼らは聖パトリックの導きによって主の御元に来た元のグループから何年もの時を経た後の末裔でした。

およそ聖パトリック死後60年後、コルンバは北アイルランドにあるドニゴール郡のフェルギュス王族の家系に生まれました。彼は聡明で自分自身を主に捧げた学者となり、ほとんど全ての聖句を暗記しました。神は聞くことができる声のような形で彼に宣教師になるように呼びかけられました。彼が神の御声を聞いた後、何も彼を止めことはできず、そして彼の奇跡に満ちた伝道事業で多くの歴史学者に彼は使徒たちの次に位置する者だと主張しました。超自然なしるしのある彼の伝道事業はあまりにも偉大なので、何人か（特にローマの学生）はその記述たちは誇張されたものだ

と考えました。

彼の伝道の旅の中で、ある時彼は城壁のある街に近づき、鉄の門が彼の行く手を阻んでいることに気づきました。彼は声を上げて神が自分を人々のところに行って伝道できるように助けてくださることを祈りました。しかし彼が祈り始めると宮廷の魔術師たちが大声で彼の邪魔をしました。そしたら彼は賛美歌を歌い始めました。彼が歌う時、神は彼の声の音量を上げられ、異教徒たちの叫びを消しました。すると、突然鉄の門が自ら開きました。彼は中に入り、福音を宣べ伝え、多くの人々を主の御元に勝ち取りました。

別の時、彼はある村から入るのを拒絶され、身を振り向いて離れようとした時に、村長の息子は突然重病になり、死にかけました。彼らは急いで聖コルンバを探して呼び戻しました。彼が信仰のある祈りを終えると、その少年はすぐざま癒されました。その村は福音によって伝道へドアを開きました。

コルンバと彼の同僚たちによって宣べ伝えられた純正な福音は全スコットランドに広がり、それを神に振り向かせました。福音は溢れ出てアイルランド、そして北ヨーロッパに入りました。彼の福音を宣べ伝える方法は、およそ12人がひとりのリーダーのもとで新しい地域に入り、文字通り福音の中心となる町を建てま

ャンと呼ぶすべての者を殺そうと決心するのを見ることができます。

同様に、この時代において全能の神の一つ目の戒律を破ったその偽教会は二つ目の戒律をも破ろうとしていました[エジプト20:4-5]。なぜならそれは自分の教皇をイエス・キリストの位置に置き、偶像崇拝を設立して実施し、教会の中で像を置くのを拒む者たちでさえも死に至らしめました。テオドラ皇后の時代だけでも、842年から867年の間、十万人以上の聖徒が偶像は価値がないものだと考えたために殺されました。

この時代は確かに悔い改めなければ、すべてを失います。栄光の主が立っておられ、神御自身の御言葉がそばにおいやられ、神御自身も拒絶されたが、人の手と心は神を退くことはできません。彼らに神を否定させよう、神は依然と誠実な方です。「小さな群れよ、恐れることはありません。あなたがたの父は、喜んであなたがたに御国を与えてくださるのです。わたしが燃える炎のような目と真鍮の足で来た時、わたしは報います。復讐はわたしのもの。わたしが報復する。」主はそう言われました[ルカ12:32、黙示録2:18,22、ローマ12:19]。

14 www.messagehub.info

と考えました。

彼の伝道の旅の中で、ある時彼は城壁のある街に近づき、鉄の門が彼の行く手を阻んでいることに気づきました。彼は声を上げて神が自分を人々のところに行って伝道できるように助けてくださることを祈りました。しかし彼が祈り始めると宮廷の魔術師たちが大声で彼の邪魔をしました。そしたら彼は賛美歌を歌い始めました。彼が歌う時、神は彼の声の音量を上げられ、異教徒たちの叫びを消しました。すると、突然鉄の門が自ら開きました。彼は中に入り、福音を宣べ伝え、多くの人々を主の御元に勝ち取りました。

別の時、彼はある村から入るのを拒絶され、身を振り向いて離れようとした時に、村長の息子は突然重病になり、死にかけました。彼らは急いで聖コルンバを探して呼び戻しました。彼が信仰のある祈りを終えると、その少年はすぐざま癒されました。その村は福音によって伝道へドアを開きました。

コルンバと彼の同僚たちによって宣べ伝えられた純正な福音は全スコットランドに広がり、それを神に振り向かせました。福音は溢れ出てアイルランド、そして北ヨーロッパに入りました。彼の福音を宣べ伝える方法は、およそ12人がひとりのリーダーのもとで新しい地域に入り、文字通り福音の中心となる町を建てま

暗黒時代と聖コロンバ 19

ャンと呼ぶすべての者を殺そうと決心するのを見ることができます。

同様に、この時代において全能の神の一つ目の戒律を破ったその偽教会は二つ目の戒律をも破ろうとしていました[エジプト20:4-5]。なぜならそれは自分の教皇をイエス・キリストの位置に置き、偶像崇拝を設立して実施し、教会の中で像を置くのを拒む者たちでさえも死に至らしめました。テオドラ皇后の時代だけでも、842年から867年の間、十万人以上の聖徒が偶像は価値がないものだと考えたために殺されました。

この時代は確かに悔い改めなければ、すべてを失います。栄光の主が立っておられ、神御自身の御言葉がそばにおいやられ、神御自身も拒絶されたが、人の手と心は神を退くことはできません。彼らに神を否定させよう、神は依然と誠実な方です。「小さな群れよ、恐れることはありません。あなたがたの父は、喜んであなたがたに御国を与えてくださるのです。わたしが燃える炎のような目と真鍮の足で来た時、わたしは報います。復讐はわたしのもの。わたしが報復する。」主はそう言われました[ルカ12:32、黙示録2:18,22、ローマ12:19]。

「神と人々(編注:原文は複数形です。新改訳2017では「神と人」と訳されています。)との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエス(神の子)です。」

1テモテ2:5。

しかしローマ教皇は御言葉を変えました。彼は、「神と人(人々ではない)との間の仲介者も唯一であり」としました。そのため今彼は仲介者と人々の間を仲介しています。しかし御子以外に仲介者は他にありません。教皇は救いはローマの教会を通して行われると宣言します。しかし神の御子を通す以外救いは他にありません。両目が裁判の火で燃えるのも不思議ではありません。主が立ち上がられ、この世界の邪悪な国々を粉々に踏みつぶそうとされた時、その両足は光り輝く真鍮のようであるのも理解できます。強い真鍮の両足のために神に感謝いたします。その両足は私たちの代わりに裁判を経験されました。その両足は今私たちの基礎であり、主イエスが勝ち取られた物は私たちの物でもあるからです。私たちは立って神の御子イエスの中で主と同一視します。

この時代において私たちはイスラム主義が起き、そしてそれは神の御子を否定し、自分たちをクリスチ

す。これらの12人の中には大工、教師、伝道者などがいて、皆御言葉をよく知り、敬虔な生活を送っています。この小さな居住地は壁によって囲まれていました。すぐに学生や彼らの家族はこの囲いの中に入り、彼らと一緒に暮らし、御言葉を勉強して宣教師、リーダー、伝道師として主に仕えるために外に出る準備をします。男性たちは結婚できる自由はあったが、多くはより良く神に仕えるためにそうしませんでした。彼らは政府の援助を受けず、政治を避けました。他の宗教を攻撃する代わりに彼らは真理を教え、なぜなら彼らは真理は神が彼らに望まれる目標を達成できる十分な武器だと信じていたからです。彼らは絶対にローマから独立していました。

アイオナ島(スコットランドの南西に位置する)には大きい聖書学校があり、聖コルンバはその創始者でした。彼がその島に行った時、その島はあまりにも荒廃としていて石ころで溢れかえっていたので、彼らに十分な食料を生産することはできませんでした。しかしコルンバは片手で種をまきながら、もう片手を上げて祈りました。今日その島は世界で最も肥沃な島のひとつとなりました。この聖書が中心である島から力のある学者が出て、神の知恵と御力に満ちあふれていました。

この偉大な神に仕えた方の歴史そして彼がした

18 www.messagehub.info

「神と人々(編注:原文は複数形です。新改訳2017では「神と人」と訳されています。)との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエス(神の子)です。」

1テモテ2:5。

しかしローマ教皇は御言葉を変えました。彼は、「神と人(人々ではない)との間の仲介者も唯一であり」としました。そのため今彼は仲介者と人々の間を仲介しています。しかし御子以外に仲介者は他にありません。教皇は救いはローマの教会を通して行われると宣言します。しかし神の御子を通す以外救いは他にありません。両目が裁判の火で燃えるのも不思議ではありません。主が立ち上がられ、この世界の邪悪な国々を粉々に踏みつぶそうとされた時、その両足は光り輝く真鍮のようであるのも理解できます。強い真鍮の両足のために神に感謝いたします。その両足は私たちの代わりに裁判を経験されました。その両足は今私たちの基礎であり、主イエスが勝ち取られた物は私たちの物でもあるからです。私たちは立って神の御子イエスの中で主と同一視します。

この時代において私たちはイスラム主義が起き、そしてそれは神の御子を否定し、自分たちをクリスチ

暗黒時代と聖コロンバ 15

す。これらの12人の中には大工、教師、伝道者などがいて、皆御言葉をよく知り、敬虔な生活を送っています。この小さな居住地は壁によって囲まれていました。すぐに学生や彼らの家族はこの囲いの中に入り、彼らと一緒に暮らし、御言葉を勉強して宣教師、リーダー、伝道師として主に仕えるために外に出る準備をします。男性たちは結婚できる自由はあったが、多くはより良く神に仕えるためにそうしませんでした。彼らは政府の援助を受けず、政治を避けました。他の宗教を攻撃する代わりに彼らは真理を教え、なぜなら彼らは真理は神が彼らに望まれる目標を達成できる十分な武器だと信じていたからです。彼らは絶対にローマから独立していました。

アイオナ島(スコットランドの南西に位置する)には大きい聖書学校があり、聖コルンバはその創始者でした。彼がその島に行った時、その島はあまりにも荒廃としていて石ころで溢れかえっていたので、彼らに十分な食料を生産することはできませんでした。しかしコルンバは片手で種をまきながら、もう片手を上げて祈りました。今日その島は世界で最も肥沃な島のひとつとなりました。この聖書が中心である島から力のある学者が出て、神の知恵と御力に満ちあふれていました。

この偉大な神に仕えた方の歴史そして彼がした

奇妙な働きを読み、教皇の勢力が貪欲に全ての人々をその手の中に握り、最終的にこれらの伝道事業の場を汚し、そしてコルンバによって教えられた真理を破壊したことを知った時、私の心は悲しみに暮れました。

神の御子

黙示録2:18、

> *「燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝く真鍮のような神の子が、こう言われる――」*

ティアティラ時代への神性についての啓示はイエスは神の子であることです。御自分の肉身におられた時に主は一度は人の子として知られました。しかし今後私たちはもはや肉身として主を認識していません。主はもはや人の子、すべての予言を一身に集められる偉大な預言者ではありません。ひとり子の神が父のふところに戻られました[ヨハネ1:18]。今私たちは復活の力によって主を認識します。主は蘇られ、偉大なる力は主のものであり、主は全てのものの上におられ、全ての栄光は主に捧げられます。主は御自分の栄光を他の者と分かち合われることはありません。主は御自分の教会におかれるリーダーシップを誰に

も渡されることはありません。

主はティアティラを見下ろされ、その町で、その4つ目の時代で主が所有されるはずの栄光が他の者に捧げられてしまったのをご覧になります。アポロが神の子として崇められているのをご覧になった時、主の御目は怒りと裁きの炎で燃えておられました、なぜなら主のみが父なる神のひとり子であるからです。主がティアティラ時代の宗教に下された裁きはとても恐ろしい物に違いありません、そこで教会メンバーは神の子（ゼウスの子アポロ）を崇拝する異教徒たちのように、ある人の支配者を上げて崇拝し、かつ政府の力によって支持されているのです。それがまさに主がご覧になったことです。ローマ・カトリック教会は完全に太陽神（アポロ）の儀式に基づいた偶像崇拝の中に入り、教会と政府の連合によって、ある人（教皇）を神と同等なところまで上げました。なぜならトマス・アクィナスとアルヴェルス・ペラギウスは明確にこう言いました、「霊的な目を通して教皇を見る者にとって、教皇は人ではなく神です。彼は無限な権利を持っています。彼は自分が望むままにどんなことをも正しいとすることができ、気が向くままにどんな人の権利をも奪うことができます。この万能な力を疑うことは救いから離されることをもたらします。教会の最大な敵は真の従順者であるくびきを背負おうとしない異教徒たちです。」

16 www.messagehub.info

奇妙な働きを読み、教皇の勢力が貪欲に全ての人々をその手の中に握り、最終的にこれらの伝道事業の場を汚し、そしてコルンバによって教えられた真理を破壊したことを知った時、私の心は悲しみに暮れました。

神の御子

黙示録2:18、

> *「燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝く真鍮のような神の子が、こう言われる――」*

ティアティラ時代への神性についての啓示はイエスは神の子であることです。御自分の肉身におられた時に主は一度は人の子として知られました。しかし今後私たちはもはや肉身として主を認識していません。主はもはや人の子、すべての予言を一身に集められる偉大な預言者ではありません。ひとり子の神が父のふところに戻られました[ヨハネ1:18]。今私たちは復活の力によって主を認識します。主は蘇られ、偉大なる力は主のものであり、主は全てのものの上におられ、全ての栄光は主に捧げられます。主は御自分の栄光を他の者と分かち合われることはありません。主は御自分の教会におかれるリーダーシップを誰に

暗黒時代と聖コロンバ 17

も渡されることはありません。

主はティアティラを見下ろされ、その町で、その4つ目の時代で主が所有されるはずの栄光が他の者に捧げられてしまったのをご覧になります。アポロが神の子として崇められているのをご覧になった時、主の御目は怒りと裁きの炎で燃えておられました、なぜなら主のみが父なる神のひとり子であるからです。主がティアティラ時代の宗教に下された裁きはとても恐ろしい物に違いありません、そこで教会メンバーは神の子（ゼウスの子アポロ）を崇拝する異教徒たちのように、ある人の支配者を上げて崇拝し、かつ政府の力によって支持されているのです。それがまさに主がご覧になったことです。ローマ・カトリック教会は完全に太陽神（アポロ）の儀式に基づいた偶像崇拝の中に入り、教会と政府の連合によって、ある人（教皇）を神と同等なところまで上げました。なぜならトマス・アクィナスとアルヴェルス・ペラギウスは明確にこう言いました、「霊的な目を通して教皇を見る者にとって、教皇は人ではなく神です。彼は無限な権利を持っています。彼は自分が望むままにどんなことをも正しいとすることができ、気が向くままにどんな人の権利をも奪うことができます。この万能な力を疑うことは救いから離されることをもたらします。教会の最大な敵は真の従順者であるくびきを背負おうとしない異教徒たちです。」